

2012年3月期第3四半期連結決算報告(2011年4月~12月)

- 第3四半期(10-12月)の市場環境悪化を反映した業績
- 建築用ガラス事業の業績は、ソーラー用ガラス需要の低下および市場の軟化を反映
- 自動車用ガラス事業の業績は、欧州市場の軟化を反映
- 機能性ガラス事業の市場は軟化
- 持分法適用会社損益は、各地域の需要低下により減益
- 世界的な経済状況の悪化を反映し、2012年3月期の通期業績見通しを修正
- 収益性改善施策を発表、吉川代表執行役副社長がプロジェクトリーダー

第3四半期(10-12月)の市場環境悪化を反映した業績

- 市場環境、特に欧州で、環境悪化が進行
- 価格吸収できないほどの投入コスト増
- 累計グループ売上は、4,208億円(前年同期4,359億円)、前年比3%減収だが、為替変動を除くと横ばい
- 累計償却前営業利益は、120億円(前年同期269億円)、市場環境の悪化および2011年初の東日本大震災の影響を反映

建築用ガラス事業の業績は、ソーラー用ガラス需要の低下および市場の軟化を反映

- 第3四半期(10-12月)に、特に欧州で、数量および価格が軟化
- 当四半期のソーラー用ガラスの数量は前四半期から減少したが、累計では、前年比増
- 建築用ガラス事業の売上は1,868億円(前年同期1,894億円)、営業利益は88億円(前年同期145億円)。チリ地震の保険収益33億円を含んだ実績)

自動車用ガラス事業の業績は、欧州市場の軟化を反映

- 欧州域内の需要は、当四半期を通じて軟化
- 短期的な値上げ範囲は限定的であることから、投入コストアップが利益を圧縮
- 補修用ガラス(AGR)の数量は低下したが、製品ミックス改善により黒字
- 自動車用ガラス事業の売上は1,872億円(前年同期1,983億円)、営業利益は32億円(前年同期102億円)

機能性ガラス事業の市場は軟化

- 第3四半期(10-12月)の数量は、前四半期から減少
- エンジンタイミングベルト用ゴムコードの売上は欧州自動車市場軟化の影響
- 機能性ガラス事業の売上は457億円(前年同期471億円)、営業利益は55億円(前年同期62億円)

持分法適用会社損益は、各地域の需要低下により減益

- 持分法適用会社利益は52億円(前年同期68億円)
- ブラジルの建築用ガラス合弁会社(50%出資)であるセブラセの利益は需要低下により減益
- ロシアの合弁会社の収益性は改善
- 中国の持分法適用会社は減益

世界的な経済状況の悪化を反映し、2012年3月期の業績見通しを修正

- ソーラー用ガラスの数量は、見込みを大きく下回った
- 欧州市場は特に悪化しており、全事業について影響
- 年間の売上見通しを5,600億円に修正。収益性改善施策に伴う特損30億円を含め、償却後営業利益見通しを40億円に修正

収益性改善施策を発表、吉川代表執行役副社長がプロジェクトリーダー

- 生産能力調整:市場需要に見合った量に生産能力を削減
- 人員削減:間接人員を中心に、グループ全体で3,500名を目標に削減
- 設備投資:向こう2年間は有形資産償却費レベルに抑制
- 本施策に伴う現金総支出は総額約250億円を予定。年間約200億円の現金創出効果を狙う

連結損益計算書



(億円)	12年3月期 4月-12月期	11年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,208	4,359	-3%**
無形資産償却前営業利益	120	269	
償却費*	(55)	(57)	
営業利益	65	212	
金融費用(純額)	(104)	(126)	
持分法による投資利益	52	68	
税引前利益	13	154	
四半期利益	22	125	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13	91	
EBITDA	356	518	-31%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却のみを考慮
 **為替変動を除くと0%

第3四半期(10-12月)の市場環境悪化を受けた業績

2012年2月2日 | 2012年3月期第3四半期決算報告